

令和元年度 第3回江南市都市計画審議会 議事録

1. 日時 令和2年1月29日（水） 午後3時～午後4時40分
2. 場所 江南市役所3階 第3委員会室
3. 委員 出席委員10名
(高橋政稔、加藤幸治、片山裕之、石原資泰、岡本英明、今村洋一、小椋雅江、倉知正憲、松永金次郎、藤岡和俊)
4. 資料
 - 資料1 議題(1) 江南市立地適正化計画の策定について（諮問）
 - ・江南市立地適正化計画（案）に関するパブリックコメントでの意見内容について
 - ・江南市立地適正化計画（案）
 - 資料2 その他（1）新ごみ処理施設整備事業に関する都市計画の案について
 - ・新ごみ処理施設整備事業に関する都市計画の案について
 - 資料3 その他（2）国道155号の4車線化整備について
 - ・国道155号の4車線化整備について

■会長あいさつ

■市長あいさつ

- 議題（1） 江南市立地適正化計画の策定について（諮問）
（事務局）～資料1に基づき説明～

（委員）目標値として居住誘導区域内の人口密度71.2人/haを設定されていますが、どれくらいの人口数を想定していますか。

（事務局）国立社会保障・人口問題研究の予想では約62.5人/haの人口密度になりますが、総合計画や都市計画マスタープランなどの方針や施策を実施していくことで、江南市人口ビジョンにおいて約82,000人になる人口を約90,000人に人口の減少数を抑える目標があり、人口密度に計算すると約68.4人/haになります。この数値か

ら約 71.2 人/ha になるのかということにつきましては、立地適正化計画の基本的な内容として、居住誘導区域を設定し、区域内に居住地を誘導していくものになります。この約 90,000 人を 95,000 人や 100,000 人に増やすというものでは無く、約 90,000 人の人口のうち居住誘導区域に住んでいただくよう、ゆるやかに誘導していくことを目指していくものになります。居住誘導区域に誘導していくための施策を展開していくことによって、居住誘導区域に設定しようとしている箇所と調整区域を含むそれ以外の箇所における人口比率が変動し、居住誘導区域内の人口密度が約 71.2 人/ha になっていくと予想して数値を設定しています。人口ビジョンでの数字では、居住誘導区域内の人口は約 42,000 人になる予想ですが、立地適正化計画の誘導施策を実施していくことによって、区域内の人口数を約 44,200 人にすることを目指しています。

(委員) 都市機能誘導区域内の誘導施設数の目標で、6 施設の立地を目指すとありますが、具体的な候補はあるのですか。

(事務局) 布袋にあるピアゴ布袋店が 3,000 m²以上の床面積がありますので、現況値として計上しています。今後、子育て総合支援センターや中央図書館、高齢者の総合福祉センターを建築していくことになると 3 施設が計上されます。さらに商業施設の誘導を目指し、合計 6 施設となっています。具体的な候補があるということではなく、あくまで目標値として考えています。

(委員) 江南市は市街化調整区域の人口の方が多いという特性があり、土地に関しても調整区域の方が圧倒的に多い割合を占めるという状況です。また、コンパクトシティとして市街化区域内に居住を誘導していくといく考えは、時代からしても必然の流れであるとは思いますが。しかしながら、市街化区域と市街化調整区域の土地で住宅の建築を検討した際に、金額が全然違い、自分の家族の土地で調整区域の土地があれば、そこで住みたいと思ってしまうことが予測されますが、どのようにして市街化区域にいろいろなものを誘導しようとしているのか見えてこないところがあります。施設を建築したり、交通網を整理したりすれば何十年か先には、人が集まってくるかとは思いますが。このように強制的に集めていくといったものではなく、時間をかけて集めていくといった解釈でよかったですか。

(事務局) 立地適正化計画の策定については、即効性がある対策として考えてはならず、今後の人口減少社会に対応したまちづくりを進めていくために策定をするものです。今後の人口減少により、お一人で住んでいた家が空き家になってしまうといったことが問題になっています。そういったところが市域で点在して発生してし

まうと、都市のスポンジ化といった現象に繋がることが懸念されます。この状況を放置してしまうと、全体的な人口密度の低下に繋がってしまいます。生活利便施設の維持にはある程度の人口密度が必要となり、市の活気を落とす原因となる都市のスポンジ化は、今後起こさないようにしていかなければなりません。そこで、市街化区域内に居住誘導区域を設定し、区域内に人が住んでもらうための優遇策を検討しなければなりません。居住誘導区域における施策の方針では、今後、居住誘導区域内に存在する空き家を利活用する際に発生する改修工事費に対して補助金の交付を検討することや、居住誘導区域内に転入・転居して戸建て住宅を建築する方に優遇制度を設けられるよう検討することで、都市のスポンジ化の抑制に繋がると考えています。

(委員) 商業施設についてはどのように誘導・誘致するつもりですか。

(事務局) 商業機能につきましては、公共が建築する内容ではないので、どういった形をとると民間の方は商業機能をもってきていただけるかについて、今後検討していかなければならないと考えています。

(委員) パブリックコメントの意見に対する市の考え方で、生活利便施設の維持に必要とされる水準を上回るとありますが、この水準はいくつになりますか。想定される指標があれば教えていただきたいです。

(事務局) 事務局で想定している指標としましては、国勢調査の結果で示されている、DID地区と呼ばれている人口集中地区というものを指標としています。1ヘクタールあたり40人以上の方が住んでいる地区が連続しているとDID地区として満たされるといったものになり、計画書にも示していますが、おおよそ市街化区域の範囲と同等の状況です。市の北東地域と布袋駅東側については、市街化区域ではない場所にDID地区が広がっている状況であります。このDID地区を都市的生活が送れる基準として取り扱っています。先ほど目標値の説明の際にお話した、人口が約90,000人であっても68.4ha/人の人口密度となりますので、DID地区の基準は十分満たしているため、20年後も十分な人口密度が確保されているといった判断をしております。

(会長) 議題(1)「江南市立地適正化計画の策定について」ご異議ありませんか。

(委員) 異議なし

(会 長) 全会一致で原案のとおり可決とします。

■議題(1) 江南市立地適正化計画の策定について(答申)

■市長あいさつ

●その他(1) 新ごみ処理施設整備事業に関する都市計画の案について
(事務局) ~資料2に基づき説明~

(委 員) 現在稼働している施設については老朽化が進んでいると思いますが、新しい施設が令和7年からの稼働になっています。それまでは現在の施設が稼働できるという根拠があるのですよね。

(事務局) 現在の焼却施設につきましては、大口町にあります江南丹羽環境管理組合の環境美化センターになりますが、令和7年度まで焼却ができるように機関の整備補修等を継続的に実施しています。

(会 長) 資料の中の2市2町の記載方法について、扶桑町だけが「及び」で繋がっているので、付け足されたようで少し格下に見られてしまう印象があります。同列に見えるように記載していただければと思います。

(事務局) この並びの記載方法については、市制町制の施行順になっておりまして、2市2町で使用する公式文書についても、すべてこの順番にしておりますが、次回からそのようにさせていただきます。

●その他(2) 国道155号の4車線化整備について
(事務局) ~資料3に基づき説明~

(委 員) 具体的にいつまでにといつた期日が示されていません。

(事務局) 愛知県に確認をしているところですが、明確な回答はありませんでした。地元への説明会では、同じような質問に対して、県の担当職員が現時点では令和5年度を目標に進めたいと回答されておりました。しかしながら懸念されることとして、今回の工事の中では埋蔵文化財の調査をしなければならない地域がありますので、その結

果次第では予定がどうなるかは分からないというご発言でした。

(委 員) 名鉄の高架については、確実に上がるのはいつですか。

(事務局) 高架については、現在名古屋方面が切り替わっておりまして、次は犬山方面の切り替えがあります。現在、名鉄と打合せを進めておりまして、令和2年度の上半期までには犬山方面を切り替えたいと考えております。

(委 員) この高架事業の遅れによって、市の持ち出しが8億円近くもかかっていると聞きます。本当に早く上げていただかないとコストが増すばかりです。

(委 員) 今回の整備区間より西側の一宮市の部分についても、延長して4車線化にする計画が当然あるかと思いますが、その部分についても並行して進めているのですか。

(事務局) 今のところ、江南市部分の整備が5年ぐらいかかるというところまでしか聞いていませんので、まだ詳しく言えない状況です。江南市部分が完成した後は、近いうちに拡幅していくとは思っています。

(会 長) 今おっしゃられた通りで、行政が横の連絡をしっかりしてもらわないとボトルネックになってしまい、渋滞が発生してしまいます。早く事業を進めなければならない時こそ、横の連絡をしっかりしていただき、説明していただけると我々としては安心します。

(事務局) この事業を進めるために、一宮市や大口町、小牧市、春日井市と連携して同盟会を組み、国や県に要望をしていますので、よろしく申し上げます。

(委 員) 線路東にある車両感知式の信号と布袋小学校の近くにある歩道橋の下の信号の場所が、4車線化後に渡れなくなるといった話を聞いていますが、計画はどのようにされているのですか。

(事務局) 鉄道高架になった際には、155号と高架になった区画整理内の場所で側道を作る計画があります。その場所に、ご指摘の2箇所の信号交差点を1つの信号交差点としてまとめる計画をしています。

(会 長) 以前も話になっていましたが、側道ができてしまうことで、地域と地域が分断されてしまうということを一番心配しています。例えば、上ばかりに上げるのではなく、アンダーで道路を通す方法もあるかと思いますので、そういったことも考えていただければいいのかなと思います。市としては住民同士のコミュニケーションを取ってくださいと言う立場にあるのですから、そのようなことも考えていただいてもいいのかなと思いました。地域分断を起こさないことは、重要だと思っています。

■令和元年度第3回江南市都市計画審議会終了